

2023 年 11 月 17 日

SUBARU 新型「フォレスター」を世界初公開

SUBARU は、米国ロサンゼルスにて開催中の 2023 年ロサンゼルスオートショーにおいて、現地時間 2023 年 11 月 16 日に新型「フォレスター」(米国仕様車)を、世界初公開しました。



新型「フォレスター」(米国仕様車)



新型「フォレスター」(米国仕様車) ムービー

※この動画に音声はありません

「フォレスター」は、1997 年に初代モデルがデビューして以来、「どこにでも行ける、どこでも使える」という基本価値を継承し、グローバルで幅広いお客様に受け入れられている SUBARU の中核を担う正統派 SUV です。米国では、これまで 260 万台以上を販売しており、SUBARU の最量販モデルの一つとなっています。

本日公開した第 6 世代となる新型フォレスターは、走る楽しさを感じさせる優れた運動性能、安心を提供する先進安全装備、とことん使えるユーティリティなど、その機能や実用性をさらに高め、日常から非日常までどんな時でも乗る人すべての期待に応える事ができる SUV に進化しました。

SUV らしく頑丈で堂々とした存在感を感じるエクステリアデザインとし、フルインナーフレーム構造による高いボディ剛性や、2 ピニオン電動パワーステアリングの採用により動的質感を向上。また、新世代アイサイトを標準装備し、安全性能も高めました。さらに、一部グレードでは 11.6 インチセンターインフォメーションディスプレイも搭載しました。

新型「フォレスター」は、米国市場では「Base」、「Premium」、「Sport」、「Limited」、「Touring」の 5 グレードを設定し、2024 年春以降の導入を予定しています。

【新型「フォレスター」(米国仕様車)の主な仕様】

<デザイン>

- ・エクステリアは、頑丈かつ堂々とした存在感を感じさせるデザインとしました。フロントビューは、ヘッドランプまでつながり、高い位置に軸を通す大胆な造形のグリルを採用。リヤビューは、荷室空間の広さを感じさせる、傾斜を抑えたリヤゲートとし、左右のコンビネーションランプを高い位置でつなぐことで、ワイド感を強調しました。
- ・インテリアは、インストルメントパネルやシフト操作部まわりを中心に、随所で SUV らしい頑丈さと安心感を表現。また、さまざまな機能を集約した 11.6 インチセンターインフォメーションディスプレイをインテリアの中央に配置し、実用性と利便性を高めています。

<動的性能・質感>

- ・アクティブトルクスプリット AWD の制御を刷新し、駆動力を軸重に合わせて常に最適配分することで、操舵初期の高い応答性とライントレース性を実現。日常使いのさまざまな走行シチュエーションで、安心感のある走りや操舵の気持ちよさを両立しました。また滑りやすい路面等で、エンジン、トランスミッション、ブレーキ等をコントロールする X-MODE を採用しました。
- ・パワーユニットは、振動・騒音を低減することで動的質感を高めた、180 hp/178 lb-ft の 2.5L 水平対向 4 気筒エンジンを搭載しました。
- ・2 ピニオン電動パワーステアリングを採用。ダイレクトで自然な操舵感を実現するとともに、応答遅れのないリニアなステアリングフィールを実現しました。
- ・スバルグローバルプラットフォームをさらに進化させ、フルインナーフレーム構造の採用や、構造用接着剤の適用拡大、サスペンション取り付け部の剛性を向上。従来型よりさらに高いレベルの動的質感を実現しました。
- ・骨盤を支えるシート構造を採用。仙骨を押さえることで、車体の揺れが頭部へ伝わることを防ぎます。これにより、ステアリング操作に伴うロールや、路面のうねりで身体が大きく揺さぶられたときでも、快適な乗り心地と疲労の軽減につながります。

<安全性能>

- ・自車速度が低速時に、新型ステレオカメラよりも広角で、二輪車/歩行者を認識できる単眼カメラを採用することで、プリクラッシュブレーキで対応できるシチュエーションを拡大し、歴代アイサイトとして最高の性能を実現しました。
- ・ドライバー異常時対応システムを採用。車線中央維持制御・先行車追従操舵制御の作動中にドライバーが長時間ステアリング操作を行わなかった場合、車両を停止し、ハザードランプを点灯させ、ドアをロック解除。その後、SUBARU STARLINK コネクティッドサービスが緊急通報します。
- ・電動ブレーキブースターを採用し、プリクラッシュブレーキで、自転車の急な飛び出しなどへの応答性が向上しました。また、全車速追従機能付クルーズコントロール使用時の、急な先行車の割り込みなどに対する素早い減速も実現しています。
- ・リヤシートリマインダーを全車に標準装備。車両から出る前に、後席確認の案内をすることで、後席のお子様やペットの置き去りを防止します。

<ユーティリティ>

- ・エアコンは、ドライバーシートのみ、フロントシートのみ、前後席の 3 パターンでコントロールが可能な集中送風モードを採用し、快適性と燃費向上に貢献しています。
- ・一部グレードでは、SUBARU STARLINK 対応の 11.6 インチセンターインフォメーションディスプレイを装備し、Apple CarPlay^{®*1} および Android Auto^{™*2} のワイヤレス接続に対応しました。
- ・リヤバンパーの下に足を入れて引くだけでリヤゲートを開閉することができる、キックセンサー式ハンズフリーパワーリヤゲートを採用しました。

*1: Apple CarPlay は、Apple Inc.の登録商標です。

*2: Android Auto は、Google LLC.の商標です。